

2010年6月10日

記者各位

出光興産株式会社

有機EL照明を用いた美術館向け展示ケースを試作 ～6月から出光美術館で展示を開始～

当社(本社:東京都千代田区、社長:中野和久)は次世代照明光源として注目される有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)を用いた美術館向け展示ケースを試作し、6月12日から公益財団法人出光美術館で展示を開始します。

当社は2007年から出光美術館の美術品展示ケース内に小型の有機ELパネルを設置し、側面から美術品を照らしていました。この試作品は補助照明にすぎませんでしたが、今回は輝度や発光効率などの性能面を改善するとともに、大型化したパネルをガラスケースの上下面に配置しました。これにより、有機EL照明のみで美術品を照らすことができるようになりました。

美術工芸品への照明は、従来から蛍光灯やハロゲンランプが使用されています。最近ではLED照明を導入する美術館も増えていますが、次世代型の照明として有機EL照明が注目されています。

有機EL照明は、特定の有機材料に電流を加えることで、材料自らが発光する自発光型照明パネルを光源としています。自然光に近い特性を持ち、美術品にとって有害な紫外線を含まず、かつ障子越しのような柔らかな光のため、鑑賞者へのまぶしさも軽減されます。照明パネルは極めて薄く、面で発光するため、自由なデザイン性も有望視されています。

また、白熱灯に比べて発光効率が高く、長寿命化も見込まれるため、省資源、省エネルギーの観点から将来の照明として期待されています。

当社はこの機会を通じて、広く有機EL照明の特長を伝え、今後の有機EL照明事業発展のため、各種活動を進めてまいります。

【出光美術館のコメント】

有機EL照明の柔らかな光は古美術品本来の姿を見せるのに適しており、美術館照明の新たな光源として、今後の展開に大きな期待を持っています。



【出光美術館の概要】

1. 名称 公益財団法人出光美術館
2. 開館 1966年10月
3. 所在地 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
4. 館長 出光 昭介

以上

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 I R・広報室 広報課（佐藤） TEL：03-3213-3115

URL <http://www.idemitsu.co.jp>